

競 技 注 意 事 項

◎ 本大会は2015年度（財）日本陸上競技連盟規則及び、本大会要項並びに申し合わせ事項により行う。また、競技者が児童であることをして、教育的配慮のもとに行う。

1、 ナンバーカード

- ①ナンバーカードは主催者で用意する。（安全ピンは各自持参すること）
※閉会式終了後、記録証と引き換えに番号順に並べて返却すること。
- ②ナンバーカードは、胸・背に4隅を安全ピンで留めること。（全種目）
- ③トラック競技は、写真判定のため腰ナンバーカードをつける。（リレーは第4走者のみ）
腰ナンバーカードは、招集時に競技者係で貸与し、右腰やや後ろに取り付ける。
競技終了後フィニッシュライン付近の箱に返却すること。
※各選手の腰ナンバーカードは各クラブの指導者及び引率者が手伝えること。

2、 招集について

- ①競技者招集は、100mスタート地点の後方で行う。 ※競技場案内図参照
- ②招集時刻は、その競技の開始時刻を基準として、下記のとおりとする。招集完了時刻に遅れた場合は棄権とみなすので招集時刻は厳守すること。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	予選（1～8組）	競技開始40分前
	予選（9～16組）	競技開始20分前
	800m決勝・リレー決勝	競技開始40分前
	その他の決勝	競技開始30分前
フィールド	競技開始50分前	競技開始30分前

（各競技の招集時刻は、招集所付近に掲示するので各々で確認すること。）

- ③代理人による招集は一切認めない。但し、同時に2種目出場するものは、事前にその旨を競技者係に申し出て、審判員同士の話し合いの上、競技に参加させる。
- ④リレー競技に出場するチームは、15時15分までにオーダー用紙を競技者係へ提出する。
（オーダー用紙は招集所で競技者係から受け取る）
- ⑤招集場所へは、競技に出場する際のナンバーカードをつけたランニングまたはTシャツを着用し集合する。

3、 素足での競技は認めない。スパイクのピンは全天候性で9mm以内とする。

4、 トラック競技

- ①トラック競技の100mは予選上位8名で決勝を行う。同タイムで8名を超える場合は抽選を行う。その場合、該当者を場内アナウンスで呼び出すので充分気をつけること。
800m・80mハードル・400mリレーはタイムレースとする。
- ②スタート イ…スタンディングまたはクラウチングどちらでもよい。
ロ…同じ選手が2度行なったら失格とする。ただし競技には参加させる。
ハ…スターティングブロックは100m決勝のみ認める。
- ③800m以外はすべてセパレートレーンで行います。競技者安全のためにフィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
- ④リレーのバトン終了後もレーン内に留まり、他の走者がすべて通過してからレーン外に出ること。その際に自分のチームのマークを必ず取り除くこと。
※マークは主催者で用意する。
- ⑤ハードルは次の規格とする。
80mH 高さ70cm スタートから1台目まで13m ハードル間7m ハードル9台
60mH 高さ60cm スタートから1台目まで12m ハードル間6m ハードル7台

5、 フィールド競技

- ①フィールド種目（走幅跳・ヴォーテックス投）の試技はすべて3回とする。
- ②投てきはヴォーテックスを使用する。（主催者用意）
- ③走高跳のバーの上げ方は以下の通りとする。（男女共通）
0.95m、1.00m、1.05m、1.10m、1.15m、1.20m、以後1人になるまでは5cmきざみとする。第1位決定のためのバーの上げ下げは2cmとする。
- ④走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とする。マットへの着地は足の裏からとし、背・腰の着地は無効試技とする。

- 6、 対抗得点
①本大会はすべての種目の上位1～8位に得点を与える。
個人種目 = 1位8点 2位7点・・・以下1点刻みで8位1点とする。
リレー種目 = 1位16点 2位14点・・・以下2点刻みで8位2点とする。
②対抗得点と同じ場合は上位順位優先とする。
- 7、 表彰
①表彰は個人・リレー各種目ごと1～8位に賞状、1～3位にメダルを授与する。
②表彰式は各種目ごとに準備出来次第行う。(1～3位)
③対抗得点の総合得点により1～8位までのクラブに賞状を授与する。
- 8、 記録証
①記録証は参加者全員に交付する。
②記録は大会終了後1週間ぐらいでホームページに掲載する。
<http://kantokids.net/>
- 9、 プログラムの氏名や所属の誤字、脱字の訂正がある場合は、クラブ代表者が大会本部に10時までに申し出ること。それ以降の変更は認めない。10時までに申し出がない場合は賞状等に誤りがあっても訂正はしない。
その他、出場種目などについては大会総務に問い合わせる。
- 10、 競技順序及び時間を変更することもあるのでアナウンスには充分注意すること。
- 11、 競技運営上指導者及び保護者に補助役員として協力をお願いすることがあります。
その際には必ず補助役員プレートをつけてください。
- 12、 競技中の練習にはバックストレッチを使用できる。ただし800mやリレー等周回競技が行われているときは使用できない。役員の指示に従うこと。
○ハードル競技の練習は下記の通りとする。
時間…11時00分～12時20分
場所…バックストレート7・8レーン使用(各5台)
※ハードル練習には原則として指導者がつくこと。
- 13、 サバイメント(1～3年生)の60m走は10時30分までに競技者係に申し込むこと。
- 14、 競技中の事故の発生については、主催者は応急処置は行うが以後の責任は負わない。
- 15、 貴重品や荷物の管理は各クラブにおいて責任を持って管理すること。
- 16、 ゴミ・空き缶・ペットボトルなど各自持ち帰ること。各クラブで自分たちの席の周りを整理・整頓すること。
- 17、 その他不明な点、競技などについては大会総務まで問い合わせのこと。

◎違法駐車

競技場の駐車場には各団体1台の割り当てで駐車票を発行いたしております。
競技場の外に違法駐車をすると直ぐに警察が来ます。また、近隣の住民に迷惑が
かかりますので、競技場の周りに違法駐車はしないでください。

◎使用禁止区域

- ①スタート付近の雨天練習場や競技者係横のスペースは利用できません。
- ②バックスタンド裏側の緑地公園地域は運河などがあり危険ですので利用しないでください。

◎写真撮影禁止区域

各トラック競技スタート付近、トラック周辺等では撮影禁止です(盗撮防止にも協力ください)。